



令和4年6月8日
中部地方整備局
名古屋港湾空港技術調査事務所

民間技術交流会での発表技術を募集します

— 港湾・海岸事業で活用が期待される新技術を紹介してみませんか？ —

- 概要** 港湾及び海岸の事業における新技術の積極的な活用を目的として、名古屋港湾空港技術調査事務所が定期的で開催している民間技術交流会（以下、交流会）について、発表頂く民間技術を以下のとおり募集します。
- 募集技術** 港湾・海岸において活用が期待される以下の技術を募集します。
 - 施工**
低コスト化、省力化、効率化、品質向上、工期短縮等を実現する新技術
 - 環境**
環境の改善、または環境への影響を低減する新技術
 - 防災**
地震、津波、高潮等の自然災害に関する新技術
 - 維持管理**
既存ストックの維持管理・LCM 等に関する新技術
 - その他**
土木資材、調査、測量等での活用が期待される新技術
- 募集期間** 名古屋港湾技術調査事務所のホームページで随時募集しています。
<https://www.meigi.pa.cbr.mlit.go.jp/file/kouryuukai/ouboannai2022.pdf>
- 開催日時** 応募技術が5～8件程に達した後、応募者と日程調整させていただきます。
- 開催方法** コロナウイルスの影響により、開催方法（オンライン形式または対面形式）は未定です。
- 発表要領** 発表時間は、意見交換と合わせて1件当たり30分程度を予定しています。（説明25分、意見交換5分）
発表方法はパワーポイントを使用することを基本としています。



7. 特記事項
- 交流会プログラム等の詳細については、事務局より追って連絡致します。
 - 過去の交流会のプログラム・発表技術は、名古屋港湾空港技術調査事務所のホームページをご覧ください。
<https://www.meigi.pa.cbr.mlit.go.jp/>
 - 本交流会は、発表技術の採用を約束するもの、または発表技術を評価するもの(制度)ではありません。
 - 本交流会にかかる資料作成、郵送料、交通費等の費用は、応募者の負担となります。
 - 報道関係者も聴講予定です。支障があるようでしたら事前に事務局へご相談ください。
8. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、
港湾空港タイムス、港湾新聞社、日本海事新聞社、海事プレス、
マリタイムデーリーニュース
9. 事務局(お問合せ先)
- 国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所
担 当 : 技術開発課 木全 (きまた) ・京田 (きょうだ)
連絡先 : TEL 052-612-9984
E-mail : pa.cbr-info-gicho@mlit.go.jp